

最新の情報

2010年7月5日 アシェル・イントレーター

ネタニヤフ首相とシャリット兵士

今週、1万人ほどのデモ参加者が、拉致されて4年間囚われているギラド・シャリット兵士(注)のためにイスラエル全土を巡る歩行による抗議行進を行いました。シャリット一族の痛みや苦しみを共有しないイスラエル人の右翼、左翼、宗教派、そして世俗派はいません。

注:ギラド・シャリット(ギルアド・シャリート)拉致事件:2006年6月25日の早朝、メルカバ Mk 3の乗員だったシャリートはガザとの境界線南部の監視施設に配置され、同地域の警備にあっていた。そこへ、ガザからケレム・シャローム(ガザ南部に隣接するイスラエルの村)へ通じる地下トンネルを通過してイスラエル領内へ侵入した複数のパレスチナ人テロリストが攻撃を仕掛けてきた。この攻撃によって戦車の乗員2名が死亡、その他4名が負傷、シャリートはテロリストによってガザへと連れ去られてしまった。パレスチナ民衆抵抗委員会(Popular Resistance Committees)のスポークスマンによれば、この攻撃はこの攻撃は2ヶ月前に計画されたものだという。(Wikipedia「ギルアド・シャリート」より引用)

皮肉なことに多くの行進者や報道レポーターらは、ギラドの解放を成すために十分な譲歩を行っていないとネタニヤフ首相を非難しました。しかし今週、ネタニヤフ首相はギラドを返してもらうかわりにテロ容疑に関連して収監している千人(!)のパレスチナ人囚人を解放すると改めて表明したのです。残念ながら、さらなる譲歩を求める抗議行動は、イスラエルに対してハマスが要求を強めることを促進させてしまい、合意へと導くことはないのです。

モサブに関する最新の情報

モサブ・ハッサン・ユーセフはアメリカへの政治亡命が認められたことを神に感謝します。彼のイスラエル人治安担当官であるゴネン・ベン・イツハクが命と自分のキャリアを賭して、モサブに代わって証言したのです。

今週、モサブの本のヘブライ語翻訳版がイスラエルの本屋で発売されます。この本がここでベストセラーになり、歴史的な情報、イスラムのテロリズムの分析、そして信仰に対する個人的な証が多くの人々の心を捉えますよう、どうぞお祈り下さい。

イエフディットのバット・ミツバ(注)

Congregation Ahavatt-Yeshaはイエフディット・Jさんのバット・ミツバを初めてのバット・ミツバとしてお祝いしました。賛美礼拝の後、トーラーの箇所をヘブライ語で読み上げたのですが、イエフディットは彼女が読み上げるべき箇所を完璧に詠唱し、そして短い教えと証を行いました。彼女は多くの友人や家族から祈りと祝福を受けました。そして私たちは皆で愛餐を頂きました。どうか、参加したまだ救われていないイスラエル人の友人二人のためにお祈り下さい。

注:バット・ミツバ:「契約の娘」という意味で、ユダヤ文化の成人式を指す。男子は「バー・ミツバ(契約の息子)」で13歳の時、女子は12歳の時に、それぞれの家族が所属するシナゴグ(メシアニックジューの場合はCongregationなど)で、成人式を行う。式は、息子あるいは娘が13歳あるいは12歳の誕生日を過ぎた後の安息日や主の例祭時を選び、それぞれの日に指定されている聖書の箇所(トーラーの箇所とハフトーラー(預言書、歴史書、詩篇など)の箇所。メシアニックジューの場合は、トーラー、ハフトーラーに加え、ブリット・ハダシャー(新約聖書)の箇所からも読み上げを行う)の中から、ヘブライ語で詠唱する箇所を選び出し、講壇の前でトーラーの巻物を広げて指定箇所をヘブライ語で詠唱・朗読を行う。成人式は通常の安息日礼拝の中に組み入れて行われる事が多く、その後、家族が「披露宴パーティー」を行う事が多い。イスラエルでは、ユダヤ人の聖地である「西壁」で行われる事が多い。この成人式は、子どもがちょうど第二次成長期にさしかかる時であり、大人の宗教的行事に責任を持って一人前に参加、奉仕するという資格と義務を付与するための通過儀礼・儀式である。なお、古代から中世においては男子の成人式のみ行われ、女子の成人式は近代に入ってから始まった。また、今なお正統派ユダヤ教徒は女子の成人式は行わない。(Wikipedia “Bar Mitzvah”より抜粋・引用)

エラヴ会議

どうか、今週末テル・アビブで行われるエラヴ青少年会議(スカット・ハレルのリック・ライディングス師主催)のためにお祈り下さい。私たちリバイブ・イスラエルのチーム(アシェルは教えをします)は日曜日の夜に奉仕します。

封筒とパズルのピース

神は私たち全員に対し、すばらしい、各人が誕生する前から決められた特有のご計画を持っておられます(ローマ 8:29、エペソ 1:11、Iペテロ 1:4)。

その神のご計画は個人的なものだけではなく、共同体的なものもあります。私たちの人生における神のご計画は、私たちが奉仕するグループと一緒にいるのです。そのような共同体に対する神のご計画は、私たちの「聖徒たちの相続分」と呼ばれるものです。

使徒 20:32 -みことばは、あなたがたを育成し、すべての聖なるものとされた人々の中にあつて御国を継がせることができるのです。

エペソ 1:18 -神の召しによって与えられる望みがどのようなものか、聖徒の受け継ぐものがどのようにに栄光に富んだものか(略)

コロサイ 1:12 -聖徒の相続分にあずかる資格を私たちに与えてくださった父なる神に(略)

最近私たちのチームの祈りの時間に、私は心に霊の絵を頂きました。それは御使いがその部屋にいた各人に白い封筒を渡しているようなものでした。白い封筒には「あなたに対する神のご計画」と書かれていました。各人がその封筒を開けて小さい色つきの段ボールでできたジグソーパズルのピースを見つけます。

皆はいくぶんか混乱しがっかりしたように見えました。各人がそれぞれのピースを持った時、私たちは自分に対する神のご計画の意味を知る唯一の方法は、他の人々のピースとつなぎ合わせる時だけだと理解し始めました。絵がつなぎ合わされた時に、私たちにに対する神のご計画は明確になるのです。